

【目指す子ども像】

- かしこい子（知）
- 思いやりのある子（徳）
- 健康でたくましい子（体）

槻田

= 共 育 =

学校だより 12月号
令和7年12月1日

北九州市槻田小学校
校長 井手口 浩明

最高の思い出と大きな成長！～ 6年生 修学旅行を終えて ～

11月19日・20日、6年生は2日間の修学旅行を無事に終え、元気に帰校いたしました。天候にも恵まれ、計画通りにすべての行程を充実したものとすることができました。

一日目は長崎原爆資料館を訪れ、平和学習に取り組みました。にぎやかだったバスの中での様子から一転、原爆の凄まじい破壊力や戦争の悲惨さを伝える展示物を真剣なまなざしで見つめる子どもたち。事前学習で学んだ内容と結びつけながら、一つ一つの資料にしっかりと向き合い、メモを取る姿がとても印象的でした。その後、平和公園では全校児童で折った千羽鶴を奉納し、核兵器のない平和な世界が続くよう心を込めて祈りを捧げました。平和の尊さを真剣に学び、その重みを肌で感じる、とても貴重な経験となりました。そして二日目のグリーンランド。ほぼ一日、集合時刻ぎりぎりまで、仲間と一緒に思う存分楽しんだ子どもたちです。いつまでも思い出に残る素敵な二日間でした。

今回の修学旅行で得た学びと経験は、今後の学校生活、そして中学校へ向けた大きな力となるものだと思います。準備等、いろいろとご協力いただきました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。



異学年交流「保育士体験」(5年)

槻田小学校では、「1・2年生の学校探検」「1・6年生の読書活動」「金びか縦割り掃除」など、様々な場面で異学年交流を行っています。上級生と下級生がともに活動することで、上級生は下級生に対する自分の役割を自覚し、「下級生のお手本になった」「役に立った」と感じることが自身の成長につながります。下級生は、自分のために活動してくれる上級生に対し感謝するとともに、「あんな上級生になりたい」とあこがれの気持ちをもつことが自身の成長につながります。

今回、5年生が地域の保育所を訪れ、「保育士体験」に取り組みました。これは、児童が様々な職業に触れ、将来について考えるきっかけとするとともに、園児との交流を通して、自分自身の成長、年上としての役割に目を向けさせることも目的としています。子どもたちは「年下の子どもたちを相手に、どうすれば楽しく遊べるか」「安全に気を配りながらかわることの難しさ」など、園児の（相手の）立場に立ってかわり方を考えながら交流を進めていました。今回の体験を通して、子どもたちは、思いやりや責任感、そして命を預かる仕事の尊さを肌で感じる事ができたのではないかと思います。



保護者対象の講演会等について

3日（水）の学習参観後、ランチルームにて「人権講演会 15:00」、また、4日（木）には、「スマホ教室 13:55」を予定しています。ぜひ、ご参加ください。

12月の主な行事予定

1日（月）～4日（木）

学校開放週間

3日（水）学習参観 5校時 13:55～14:40

人権講演会 15:00～16:40

4日（木）昔遊び体験（1年）

スマホ教室（56年）※保護者参観可

9日（火）クラブ活動

12日（金）保育所との交流（1年）

16日（火）～18日（木）

個人懇談会 全児童給食後下校

22日（月）給食終了

23日（火）冬休み前最終日 11:40 下校

※ 冬休み後登校日 1月8日（木）

※ 給食開始 1月9日（金）